

英語科 中学3年生

単元名 Unit 6 「20th Century Greats」
東京書籍 「NEW HORIZON 3」

単元の流れ（全9時間）

【第1次】主な学習内容

- ◇ 第1、2時 具体物や様々な例文を用いて、後置修飾を含む英文の意味や構造を理解し表現する。
- ◇ 第3時 関係代名詞 who を用いた文構造・意味・用法を理解する。

【第2次】主な学習内容（本時）

- ◇ 第4時 関係代名詞 who を用いた、Q&A 形式のアクティビティに取り組む。

「活用」の力育成のために

日本語と英語との文構造の違いに注目させ、英語での語順の特徴をとらえさせる。（ポイント①）

【第3次】主な学習内容

- ◇ 第5時 先行詞の違いを踏まえながら、関係代名詞 that[which]（主格）を用いた文構造・意味・用法を理解する。人物事典を読んで内容を理解する。また、その情報に基づいてレポートの概要を完成させる。

【第4次】主な学習内容

- ◇ 第6時 関係代名詞 that[which]（目的格）を用いた文構造・意味・用法を理解する。伝記の情報を読んで、内容を理解し、その情報に基づいたレポートを書く。

「活用」の力育成のために

まとまった文の中から、必要な情報を取り出し、概要をまとめたり、詳しい情報を加えたりする。（ポイント②）

【第5次】主な学習内容

- ◇ 第7、8時 中学校で学んだ知識を広く活用し「仲間とつづる自分史」としてまとめる。

作品例はこちら [CLICK](#)

「活用」の力育成のために

友だち（他者）の個人史を書くことで、コミュニケーション活動を基盤にしながら情報を交換したり、得た情報を文としてまとめたりする必然性を持たせる。（ポイント③）

【第6次】主な学習内容

- ◇ 第9時 関係代名詞など、後置修飾を含む英文の理解を確認する単元テストを解く。

[CLICK](#)

単元テストはこちら

単元目標

- 後置修飾（関係代名詞や接触節）を用いた言語活動に積極的に取り組む。
- 後置修飾（接触節）を用いて、情報に基づいたレポートを書くことができる。
- 後置修飾（関係代名詞や接触節）を用いた英文を読み、内容を理解することができる。
- 後置修飾（関係代名詞）の基本的な知識を身に付ける。

単元構成の意図

後置修飾（関係代名詞や接触節）は英語にだけ特有の語順である。日本語との違いに留意しながら具体例を多く出すことにより定着を図るようにする。

学習の集大成として「自分史」づくりに取り組み、中学3年間で学んだ知識を総合的に活用することができるようにする。

「活用」の力を育てるポイント

- ① 後ろから前の名詞を修飾する文構造に注目させ、二文を一文にまとめたり、語順を理解させたりしながら後置修飾の定着を図る。
- ② まとまった文を読み取り、得た情報から、レポートの概要を完成させたり、より詳しい情報を書き加えたりすることで、要約する力や的確に表現する力を身に付けさせる。
- ③ 「仲間とつづる自分史」という課題を設定し、インタビューをして必要な情報を得たり、断片的な情報を既習の語彙や知識を用いて文にまとめたりする力を身に付けさせる。作品づくりを通して、コミュニケーション活動の必然性をもたせたり、教え合いの場面を増やしたりする。

[HOME](#)

[本時の流れへ](#)

[評価問題](#)